

## バイオマス利活用施設の概要

作成日：平成 19 年 8 月 31 日

作成者：(財)日本システム開発研究所

<p>施設のシステムフロー</p>		<b>【施設名称】</b> 一次処理型輸送機
		<b>【事業主体】</b> 資源エコロジーリサイクル事業協同組合
		<b>【所在地】</b> 石川県加賀市
		<b>【運転開始年】</b> 平成 16 年 (2004 年)
<b>原材料および利用量</b>	食品廃棄物、定枝 (500t / 年)	
<b>生産物 (種類)</b>	たい肥	
<b>利用方法</b>	地元の農家へ販売	
<b>導入目的・経緯</b>	食品廃棄物と剪定枝のリサイクルを行い、良質なたい肥を農地へ還元する資源循環型社会の構築を目指す	
<b>設備仕様</b>	食品残さを、一次処理型輸送機を使って、一次発酵を行いながら収集し、その後二次発酵用の専用容器に移し、一定期間を経てたい肥を製造、定枝は水分調整材として利用する	
<b>稼働状況</b>	たい肥：300t / 年	
<b>経済性関連データ</b>	H16 年度バイオマス利活用フロンティア推進事業 総事業費 21,264 千円 (国庫補助金 10,632 千円) うち一次処理型輸送機 事業費 19,500 千円 (国庫補助 9,750 千円)	
<b>導入効果</b>	食品残さが焼却処分されないことにより、焼却処理量が削減され、また、剪定枝の埋め立て量が削減され、資源循環型システム社会の構築に貢献している	
<b>運営上の課題</b>	食品残さのリサイクルの取組が始まっているが、全体で見るとリサイクルされている量は数%にとどまっており、量の拡大を図る必要がある	
<b>備考・参考資料</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例集</li> <li>・北陸農政局 HP (H17 年度北陸管内におけるバイオマス利活用の取組事例)</li> </ul>	